

王喜の郷の輪 第2回
トニー ブースさん (2/3)
(職員の夫)

Supermarket food is very different in Japan to NZ. In NZ dairy food is a common staple food (such as milk, cheese, yoghurt, and icecream).

In NZ it is common to buy cheese regularly as a 1kg block. It is also common to buy different styles of cheese to have with crackers and wine. Ice cream comes in a 2L container that you can put into a bowl or on a cone. It is very difficult to find these things in Japan.

Japan has much better convenience food than NZ and the price is much lower. For example it would cost around ¥1000 in NZ for a simple lunch such as a drink and a sandwich. In Japan it would be ¥500. There are many places to get a delicious snack or meal on the go and healthy options too. I do miss some food in NZ that I took for granted, but it is also exciting to try new food and sometimes it is better ☺

日本とニュージーランドでは、スーパーマーケットに並ぶ食べ物も全く違います。NZでは牛乳、チーズ、ヨーグルト、アイスクリームなどの乳製品がとて一般的です。1kgのチーズのかたまりを定期的に購入したり、様々な種類のチーズをクラッカーやワインと食することもよくあります。アイスクリームは2リットルの入れ物に入った商品が多く、お皿にのせたりコーンに入れたりして食べます。このような品物は日本で見つけるのは困難ですね。逆に日本では便利で手頃な価格の食品がたくさんあります。例えばNZで簡単な昼食(サンドイッチと飲み物)を買うと千円はかかりますが、日本では500円程度です。またすぐに食べられる美味しい軽食や食事、ヘルシーな選択肢もたくさんあります。NZで当たり前前に食べていた食べ物も恋しいですが、新しい食べ物に挑戦し、違いを楽しんでいます。

「歌謡界の二大山脈」

戦後の歌謡界には「二大山脈」と称された二人の大作曲家がありました。一人は「歌謡曲の父」といわれた、古賀政男です。戦前から「丘を越えて」や「影を慕いて」、「誰か故郷を想わざる」など日本人の心にしみ入る「古賀メロディー」の数々を発表、昭和15年には音楽親善としてアメリカに渡り、NBC放送局から「古賀メロディー」が全土に放送され「世界の古賀メロディー」となり、戦後は不動の地位を確立していました。そして、もう一人が「和製ポップスの王様」といわれた、服部良一です。戦前、外国音楽のタンゴやルンバを歌謡曲に取り入れ、黒人たちが差別に苦しむ悲痛な思いをメロディーにしたブルースも歌謡曲に取り入れられました。当時、ソプラノ歌手だった淡谷のり子を説得して、昭和12年、淡谷のり子が低音でレコーディングした初のブルース作品「別れのブルース」は大ヒットしました。歌った淡谷のり子は、その後「ブルースの女王」と称され、「雨のブルース」や「東京ブルース」など数々の「ブルース歌謡」をヒットさせました。戦後は「ブギウギ」という新しいリズムを確立、昭和23年には「東京ブギウギ」を発表、日本中にブギブームを巻き起こしました。「東京ブギウギ」を歌った笠置シズ子は「ブギの女王」と言われ、その後「ジャングル・ブギ」や「ホームラン・ブギ」、「ハイハイ・ブギ」、「買い物ブギ」など20曲近いブギを発表しました。独学で作曲論を勉強した古賀政男とは違い、服部良一は世界的音楽家、ヘマニエル・メッテルに師事。徹底的にクラシックや音楽論の基礎から学び、大変に作品のジャンルも広く、その他「銀座カンカン娘」や歌謡曲的な作品で代表曲「青い山脈」など現在も歌い継がれる作品を世に残しました。このライバル関係にあった二人が歌謡界に残した大きな功績は、これだけではありませんでした。昭和34年、二人が日本音楽文化とレコード界の成長、才能ある多くの新人歌手たちの育成のために設立したのが現在も続く「日本レコード大賞」でした。大賞のほか各賞の受賞者から、実力人気歌手、アイドルなどが年々芸能界に進出して活躍する文字通りレコード界の登竜門として社会に広く認知され、二人の努力により日本音楽文化を支える権威ある賞となりました。

戦後、作曲家としてデビューした吉田正や遠藤実、船村徹など、どれだけの作曲家が二人の「二大山脈」を目標にした事でしょう。二人が残したのは現在も歌い継がれる数々の名曲だけではなく、日本音楽文化を発展させたという功績もあります。そして、現在も二人がまいて育てた音楽の種が世代を越えて育っているのです。

ミントの家 山根 徹

昭和レトロコンサート

激動の時代を生き抜いた歌姫

歌手 渡辺はま子 & 二葉あき子 < 夢の競演 >

「蘇州夜曲」 「フランチェスカの鐘」 「水色のワルツ」 ほか

日時 八月三日(ケアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三十分〜十五時

八月二十四日(シニアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三十分〜十五時

♪懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください♪

【会費】 三〇〇円(お茶代・資料代)

【お問い合わせ】 山根(ミント) 中村(ケアハウス)



たんぽぽ通信

8月1日発行 186号
ケアハウス王喜の郷 令和4年8月号

Webページ <http://www.ryokujyukai.jp>

今年は6月は梅雨を通り越して、7月が盛夏になりました。9月の終わりまで暑さとの戦いが続きそうです。水分の補給と暑さを和らげる工夫をして皆様に夏を楽しんでいただく予定です。3度の食事も冷たいものをと考えますが、先人のいろいろな工夫を参考に、汗を流しながら、も参考の一つだと思われま

す。羽音を聞く私の聴力が失ってしまったことが大変残念ですが私の中に残っている音で羽音を聞いています。さて2群の王喜の郷の働き蜂達も巣箱の入口に20cm四方の絨緞状に張り付き冷気を取っているような様子です。羽音を聞く私の聴力が失ってしまったことが大変残念ですが私の中に残っている音で羽音を聞いています。

蜂達の事ですが、小さなことと思われるでしょうが地球規模の話でもあるのでちょっとお聞きください。

皆様にお出したかぼちやの種から野良生えて、2,3本のかぼちやが蜂の巣箱の近くにはえています。黄色い花が6月から少しずつ咲き始めまだまだ咲き続けています。今年はそこにたくさんの実がついています。30個はあるでしょう。

かぼちやに実がついて当たり前だと思われるでしょうが、蜂のいない昨年も、その前も20年以上2~3個やっとなっていました。あの休まず働き続ける小さな蜂も、目に見えないけれど自然の中でいろいろな役目を持っています。成果を受け取る時にはそれまでの過程を何倍も大切にしたいと思います。施設長 末谷千秋

8月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 レトロコンサート	4	5	6 広島 平和記念日
7 立秋	8	9	10	11 山の日	12	13 お盆(〜16日)
14	15 終戦記念日	16	17	18	19	20
21	22	23 処暑	24 レトロコンサート	25	26	27
28	29	30	31			

☆今月のビューティーヘルパー来訪日は未定です。決まり次第お知らせいたします。

*誕生日: お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。

***ビューティヘルパー: 出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。

****イズミ行き: 午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。

*****レトロコンサート: 午後1時半〜3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。

☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のシニアハウス。同じ内容です。参加費300円

****ななの会(習字)はお休みさせていただきます。

<p style="text-align: center;">ケアハウス王喜の郷</p> <p>王喜の郷にお世話になって一年ちょっと経ちました。この間、皆様には大変良くしていただき充実した一年でした。以前勤めていた職場の仕事と打って変わって体を使う仕事とあって、適度な汗をかき、おかげで体調もすこぶる良好です。</p> <p>日本では首相が代わり、観光船の事故など痛ましい事故事件がおこり、世界ではロシアのウクライナ振興等目まぐるしい変化した一年でした。今年の今時は東京オリンピックパラリンピックが開催されテレビに釘付けになったこともすっかり頭の隅に行ってしまった。私だけでしょうか。また、エネルギーをはじめとする物価高、新型コロナの再拡大や連日の猛暑に苦しむこの頃です。私だけでしょうか。</p> <p>世の中いかに変化しようとも自分だけはしっかり見つめ、今日を歩みたいものです。 配食担当 吉坂学</p>	<p style="text-align: center;">ケアハウス王喜の郷(厨房)</p> <p>毎日暑い日が続いていますが皆さんは水分を摂っていらっしゃいますか？寝ていても起きていても汗は出ますので多めにとって下さいね！</p> <p>1年がたつのも早いものでもう八月ですね。すぐにお盆がきます。夏休みも始まり子供たちは毎日ラジオ体操や宿題で大変ですが、親も大変です。毎日昼の食事を家で食べるので、勤めているお母さんは大変です。弁当を作ったりカップヌードルをおいて行ったりで…。メニューを考えるのも大変！食事を作ってもらう有難さ、本当に感謝ですね。</p> <p style="text-align: right;">厨房 西村美代子</p>	<p style="text-align: center;">王喜の郷デイサービスセンター</p> <p>立秋とは名ばかりで、強い日差しが照りつけ、うだるような暑さが続いています。</p> <p>デイサービスでは、7月7日の七夕の日に王喜小学校の4年生の児童さんとの交流会を行いました。</p> <p>依然として新型コロナウイルスが猛威をふるっている為、いつもは対面での交流会でしたが、昨年を引き続きリモート(テレビ電話)での開催となりました。</p> <p>参加されたデイサービスの利用者・ケアハウスの入居者の皆さんは、テレビの画面に映った児童さんの元気な姿や自己紹介等を嬉しそうに見られていました。</p> <p>最後の質疑応答では、積極的に発言され、参加された皆さんは、大変満足されたようでした。</p> <p>交流会は、9月と12月にも開催を予定していますので、楽しみにしてして下さい。</p> <p style="text-align: right;">介護職員 田積 薫</p>	<p style="text-align: center;">グループホーム王喜の郷</p> <p>7月7日の七夕(たなばた)は、例年通り入居者の皆さんに自分の思いを短冊に書いてもらい、素晴らしい笹飾りをつくりました。</p> <p>「いつでもどこでも皆と行きたい」、「父と夫に会いたい」など書かれました。中には「お金が欲しい」という短冊もあり、皆さんも職員も「うんうん」とうなずき、笑顔を誘っていました。そして、同日に誕生日を迎えられた入居者さんがおられ、一緒にお祝いの歌をうたい、記念撮影などを行い大変喜ばれていました。</p> <p style="text-align: right;">介護職員 藤井雄大</p>
<p style="text-align: center;">王喜の郷居宅介護支援センター</p> <p>暑い日が続き、体調管理には十分気をつけておられるかと思えます。今回は熱中症の事例の紹介をさせていただきます。</p> <p>身体が動かない、足が出ないとの訴えがあり、看護師が体温を測ると、38℃以上の発熱がありました。衣服はスウェットの上下を着られ、部屋の窓は閉まったまま、エアコンも入っていませんでした。直ぐに、エアコンを入れ、お茶を飲んでもらい、半袖に着替え、アイスノンで頭を冷やしました。食事の間にスポーツ飲料やお茶を飲んでもらうと、翌日は歩行ができ、動けるようになりました。</p> <p>1日1.2ℓ以上の水分が必要と言います。ゆっくりこまめに水分補給と、部屋の温度調整や風通し、衣服の調節をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">介護支援専門員 石川 ゆかり</p>	<p style="text-align: center;">王喜の郷ホームヘルプステーションいるか</p> <p>訪問介護の理念は「利用者の方が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう支援することです。</p> <p>利用者の方がご自分でできることは続け、またヘルパーが支援することで自宅での生活が送れるように、利用者の方一人ひとりの心身状態の変化に対応していくことを意識して日々の支援を行っています。</p> <p>利用者の方一人ひとりに必要なサービスが提供できるように、ケアマネジャーとの連絡を密にとり、必要なサービスを提供していきます。</p> <p>生活の中で「続けていること」や「手伝ってもらったことができるようになりそうなこと」等ありましたら遠慮なくご相談ください。</p> <p style="text-align: right;">サービス提供責任者 下森真理子</p>	<p style="text-align: center;">王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷</p> <p>散歩の際の楽しみになればと思い、5月に向日葵を植えました。日ごと成長する姿を見て「大きくなったね」の声。みるみる花が咲きました。散歩に行く際には「見に行こうか」と朝のリズムになっています。</p> <p>また中庭の向日葵の大きな葉には小さな緑のカエルが住み着き、見るのを楽しまれている方もおられます</p> <p>先日、行事の一つとなっている紙芝居「お嫁さん」を参加者全員で読みました。昨年同様、皆さん感情が入りスラスラ読まれ、自身の嫁入りの時の甘辛い幸せな話をたくさん聞く事ができました。</p> <p>蒸し暑い日が続いていますが、皆さんお変わりなく過ごされています。</p> <p style="text-align: right;">介護職員 吉村日出子</p>	<p style="text-align: center;">放課後等デイサービス さくら</p> <p>夏休みが始まりました！</p> <p>さくらに来所すると真っ先に宿題や課題に取り組む子や歌やダンスをして体をたくさん動かす子もいます。</p> <p>また、さくらではプールが始まり、全身で冷たい水の感触を味わい、思い切り水遊びを楽しんでいます。</p> <p>初日から全く怖がることなく、全身水に浸かりのびのびと遊ぶ子もいれば、少し不安な様子で水に浸かろうとしない子もいてそれぞれ違った反応が見られています。</p> <p>一人一人のペースに合わせて楽しんで遊べるように関わるとともに、プールに入り活動量が増えて疲れやすくなるので十分な休息も取り入れながら、暑い夏を元気に過ごせるようにしていこうと思います。</p> <p style="text-align: right;">さくら支援員 森澤佑衣</p>